

関西ティーイーケイ(株)環境報告書 2003

ごあいさつ

ご案内のように、当社は東レエンジニアリング株式会社の関西における関係会社で、東レ株式会社及び東レエンジニアリング株式会社で培ってきた技術・技能をさらに高めた機械・電気・計装関係の技術・技能集団です。それをもって幅広い顧客ニーズに応え続けています。東レグループの一員である当社の従業員の大半は、東レ滋賀事業場内に勤務しているところから、環境保全・改善活動についても東レ滋賀事業場の進める活動に同一歩調で取り組んでいます。

ここに示した種々のデータは、東レ滋賀に報告しているそのものです。我々関西ティーイーケイ株式会社は東レグループの一員として大津市と結んだ環境保全協定の実施に向け、今後ともたゆまない努力を続ける事をお約束致します。

関西ティーイーケイ株式会社
社長

環境方針

【環境理念】

安全・防災・環境保全・衛生・健康・倫理を事業活動の最優先課題として、社会と社員の安全と健康および資源を守り地球環境保全に努めます。

【環境保全方針】

1. 大津市環境基本計画に基づき、共生、循環、健康、快適、協働の基本目標を達成すべく、環境保全活動方針・計画を明確にし、環境の維持・保全に努めます。
2. 環境関連の法規制を遵守し、自主的に保全・改善活動に取り組みます。
3. 水質汚濁物質の流出防止および大気汚染物質の排出防止を徹底します。
4. 廃棄物の削減、リサイクル化の促進、省エネルギーへの取り組み等環境負荷の低減に努力します。
5. 臭気・振動・騒音等を防止し、地域環境を守ります。
6. 上記項目の実現のため、環境目的および目標を設定し、かつ、全従業員が事業者・市民としての責任と役割を自覚し、共通の目標を達成するために継続的な活動を推進いたします。

2001年2月26日制定

会社概要

社名：関西ティーイーケイ株式会社
 設立：昭和48年9月
 資本金：80百万円
 本社：〒520-0832
 滋賀県大津市粟津町1番24号
 TEL 077-534-0956
 FAX 077-534-4693
 株主：東レエンジニアリング株式会社
 東洋電機株式会社
 代表者：代表取締役社長 林 隆生
 許可業種：
 特定建設業 特-12第18627号
 機械器具設置工事業・管工事業・
 電気工事業

事業内容

設備維持・保全：機械、電気・計測設備の維持、保全
 各種設備の更新、修繕工事
 機器設計、製作：繊維機械、産業機械、乾燥機、コーター
 設備、セラミックス加工、複合材加工
 コンポジット
 制御盤設計、製作：制御盤の設計、製作、調整、保守
 制御システム設計、調整、電子機器組立
 総合エンジニアリング
 ：機械、電気、計測、土木、建築
 プラントの設計、施工、監理
 新規展開事業分野
 物流合理化機器 環境保全設備 制御システム装置
 高分子関連設備（繊維・フィルム・プラスチック）
 化学・食品トイレットリー・他プラント

H15年度 環境保全活動

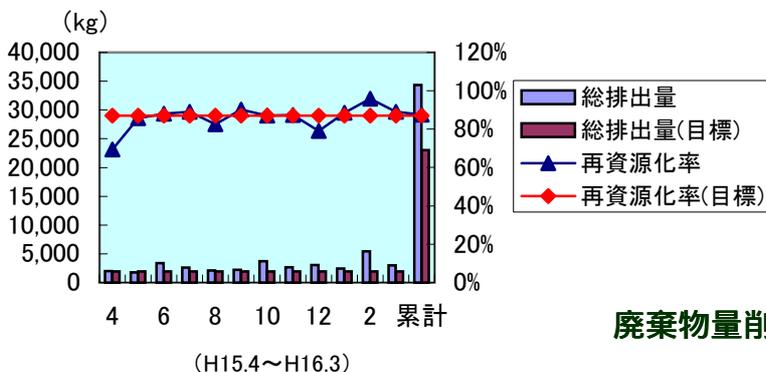
I. H15年度 関西TEK環境マネジメントプログラム

環境目的	環境目標	達成基準 (達成度)	方針・施策 (手段・方法)	目標達成のための必要条件 (要員・設備・資金等)	スケジュール						達成予定 年月	
					上期			下期				
					4	6	8	10	12	2		
1. 廃棄物の削減	1) 総廃棄物処分量の削減(再資源化含む)	23t/年以下 (H14年度実績比 3%削減)	・通い箱等再利用の徹底 ・ゴミ分別の再徹底	・計画未達部会へのフォロー強化 (部会別排出量の把握) ・分別パトロールの強化							H16-3	
	2) 埋立廃棄物の削減	1.9t/年以下 (H14年度処分量以下)	・ゴミ分別の再徹底 ・再資源化の推進 (電線屑処理検討)	同上								
	3) 再資源化の推進	年度末87%以上 (H14年度実績78%)	同上	同上								
2. 省エネの推進	1) 総エネルギー費用を前年比より更に削減	A. 用役費: 520万円以下 (H14年度実績 540万円の3%減) B. 社用車走行距離 11000Km/台 (H14年度実績 11300Km/台の 3%減)	・W-TPM全社推進委員会にてフォロー	・冷暖房の管理強化 ・電灯の間引き実施 ・不用時OFFの再徹底と実施 ・公共交通機関の利用促進							H16-3	
3. 環境異常件数の削減	1) 環境に関する異常件数の削減	重大トラブル0件 軽度トラブル0件	・指導及び教育の強化 継続	・教育及び訓練の実施 ①水経路マスターの参加 ②W-TPMIによる環境教育の実施	→						H16-3	

・ H15年度環境保全活動結果

1. 廃棄物の削減

(1) 総排出量と再資源化の推進



目標達成のために、

- a. H15年度削減計画のPR
- b. 通い箱等再利用の徹底
- c. ゴミ分別の再徹底
- d. 分別パトロールの強化

廃棄物量削減目標達成出来ず

**目標 23t/年
実績 34t/年**

再資源化率目標達成

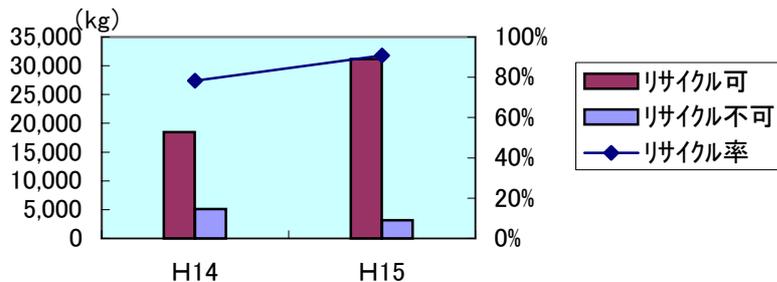
**目標 87%
実績 91%**

- 内訳 -

総排出量

	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	総計
H14	18,461	5,121	78%	23,582
H15	31,162	3,183	91%	34,345
削減量	-12,701	1,938		-10,763

売上高前年比 1.2倍
 総排出量前年比 1.46倍
 売上増を許容したとしても
 目標大幅未達



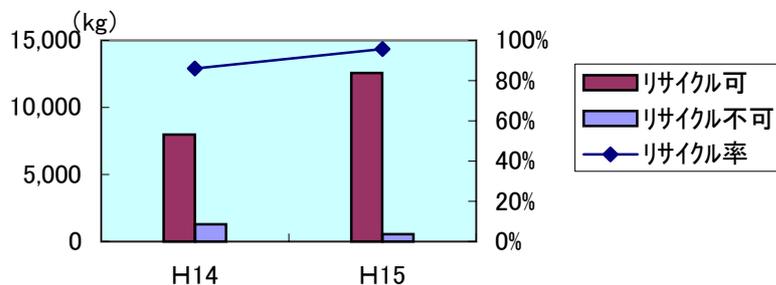
但し、再資源化廃棄物量の大幅増量
 再資源化不可廃棄物量の削減のため
 リサイクル率は実績 91%と目標
 87%を達成

紙

	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	総計
H14	7,967	1,285	86%	9,252
H15	12,573	556	96%	13,129
削減量	-4,607	729		-3,878

紙リサイクル率目標 95%達成のために、

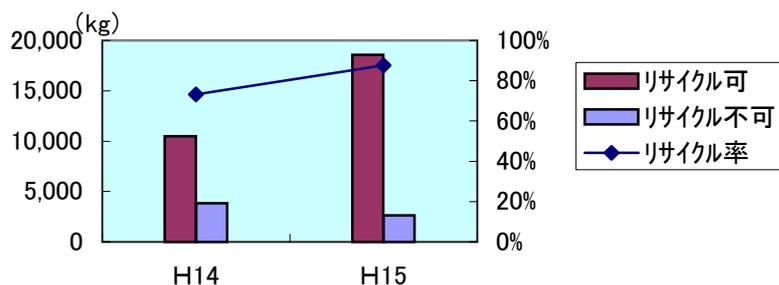
- a. 分別廃棄の再徹底
- b. 分別パトロールの強化



H15年 紙リサイクル率
 実績 96%と目標達成

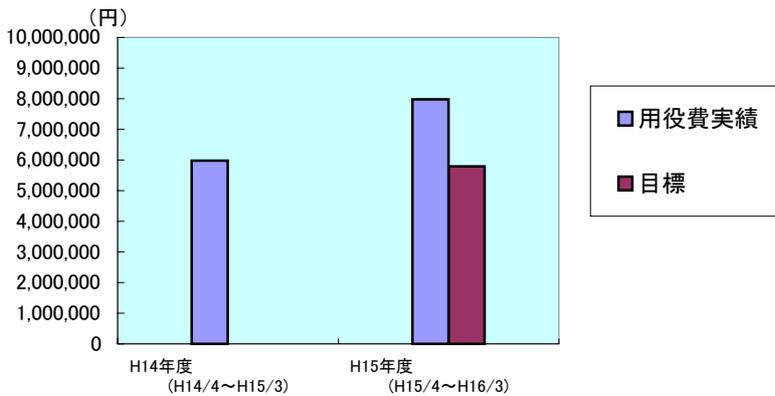
紙以外の廃棄物

	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	総計
H14	10,495	3,836	73%	14,331
H15	18,588	2,627	88%	21,215
削減量	-8,093	1,209		-6,884



2. 省エネルギーの推進

(1) 用役費用



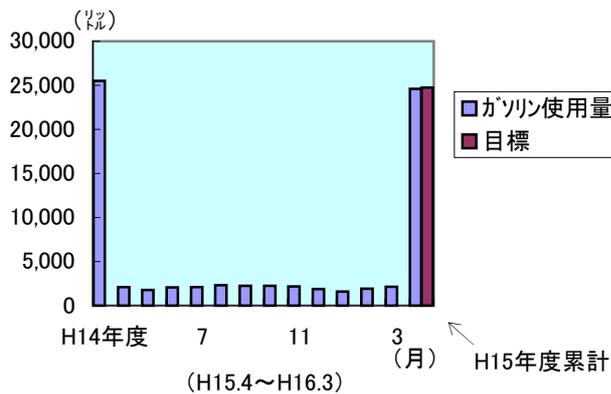
目標達成のために、

- a. 冷暖房の管理強化
- b. 電灯の間引き実施
- c. 不要時のS/W OFF化の再徹底と実施
- d. 公共交通機関の利用促進

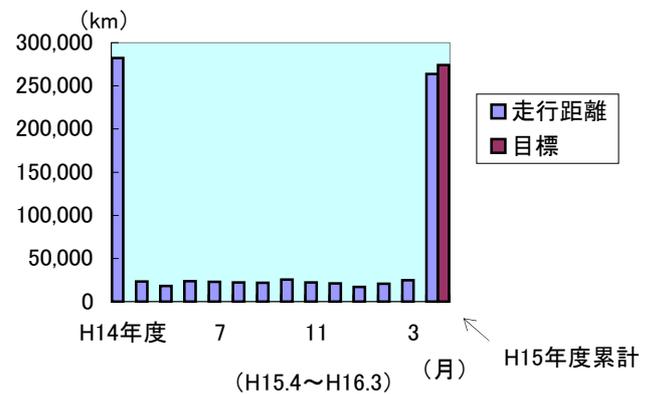
用役費目標520万円以下大幅未達

- 理由 1. 工場管理範囲の増加
2. 売上げ増加

(2) ガソリン使用量



(3) 走行距離



ガソリン使用量 : H14年度社用車保有台数25台、H15年度2台追加したにも関わらず
H14年度の3%減の目標を**達成** 地球温暖化防止に寄与
走行距離 : 11,000km/台以下の目標に対し10,050km/台と**目標達成**

3. 環境苦情件数の削減

(1) 環境に関する苦情件数のゼロ化

重大トラブル 0 件

軽度トラブル 0 件

但し、絶縁オイル入替時 誤って排水溝に洩れ出すヒヤリハット

1 件発生 (早期発見、早期処理にて環境汚染にはつながらず、
苦情には至らなかった)

目標達成のために、

- a. 教育訓練の実施
 - ・排水系路図や緊急時対応要領に基づき教育・訓練の実施

以上